

第147回国際高官セミナー 「犯罪者処遇における社会との連携」

1. 日程及び参加者

- 平成23年1月13日（木）～2月10日（木）
- 海外参加者9か国10名
- 国内参加者6名

2. セミナー概要

犯罪者の施設内及び社会内処遇を実施するに当たっては、社会との連携が重要である。社会の協力を得て、犯罪者に経済的な自立を果たす機会を与え、また社会復帰への強い意欲を持たせることができれば、その社会復帰をより円滑にし、かつ、持続的なものとする事ができる。また、施設内及び社会内における処遇プログラムや介入の中には、社会からの支援によって、より効果的かつ効率的に実施し得るものも多い。

このセミナーでは、犯罪者処遇における社会との連携に関する経験及び知識の共有を図り、その拡充について可能な方策を検討する。

主要な具体的検討項目は以下のとおりである。

- 犯罪者処遇における社会との連携の現状
- 社会が参加することが可能な分野又は業務
- 犯罪者処遇における社会との連携を促進するための措置

3. 客員専門家等

本セミナーの一環として、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行った（敬称略）。

【客員専門家】

- イヴォン・ダンドュラン　カナダ・刑事法改革刑事司法政策国際センター
上級専門職
 - 1 「犯罪者処遇における社会との連携を拡大するための多様な方法－各国における取組－」
 - 2 「カナダの刑事司法制度における社会との連携」
- エリノア・チェモンゲス　ウガンダ人権イニシアチブ財団
「パラリーガルを活用した刑事施設の処遇状況の改善」
- デズモンド・チン　シンガポール行刑局副局長
 - 1 「犯罪者の改善更生における社会との連携－シンガポール行刑局の実践－」
 - 2 「イエローリボンプロジェクト - 犯罪者を受け入れる社会の推進と社会との連携

の促進 -」

- スティーブ・ピッツ 英国法務省全国犯罪者マネージメントサービス
国際関係・国際プログラム室長
 - 1 「英国の施設内及び社会内処遇における地域との連携の促進－最近の取組と将来の計画－」
 - 2 「犯罪者の更生と地域の安全の向上 - イングランド及びウェールズにおける社会との連携を通じた改善更生の強化 -」
- デービッド・カラザース ニュージーランド仮釈放委員会委員長
 - 1 「ニュージーランドの犯罪者処遇における社会との連携－判決前及び判決段階－」
 - 2 「ニュージーランドの犯罪者処遇における社会との連携－判決後段階－」
- キティポン・キタヤラク タイ法務省事務次官
 - 1 「タイにおけるコミュニティ司法－犯罪者処遇や市民生活の改善につながるパートナーシップ」
 - 2 「タイの犯罪者処遇における社会との連携」

【外部講師】

- 富山 聡 法務省矯正局成人矯正課長
「矯正処遇における社会との連携について」
- 西村 穰 法務省保護局更生保護振興課長
「更生保護における民間・地域・社会政策との関わり」
- 山本 譲司 作家
「罪を犯した障害者の処遇における社会との連携」
- 近藤 恒夫 日本ダルク代表
「薬物依存者の処遇における社会との連携」
- 水藤 昌彦 国立のぞみの園参事
「矯正施設を退所した知的障害者の処遇における社会との連携」

以 上